

幸せを
探している
あなたに

だれが来てもよいのです!

もしかして、あなたは、こういう問題で悩んでいませんか。

- ・熱心に生きてきたのに、何のために生きるのか意味がなくて、理解できないむなしさの中でさまよっていませんか。
- ・それで、自分も知らない間に、インターネット、淫乱、ギャンブル、アルコール、ゲーム、麻薬に中毒になって、人間関係、家庭問題、経済問題で苦しんでいませんか。
- ・あるいは、確かに経済的に、社会的に成功したのに、他の人には言えない自分だけの悩みと継続する問題に苦しめられていますか。
- ・先祖代々、偶像をおがんで、占ってもらい、お祓いやお守りをつけても、災いと困難が続いて起きていませんか。
- ・とても努力して、最善をつくしても、特別な理由も原因もなく、事業、職場、家庭に困難が続いていませんか。
- ・未来の運命が分からないので、いつも不安で苦しいではありませんか。
- ・ストレスで苦しめられながら、うつ病で、生きる意欲を失って、否定的な考えに捕われて、自殺衝動を感じていないですか。
- ・家庭と家系に、願ってもいないのに、不治の病や精神的な病気で家族が苦しんでいることはありませんか。
- ・家庭不和による葛藤の中で、家出、脱線、不安、焦る症状で深刻な苦しみにあっていませんか。
- ・誤った友人関係によって、子どもの家出、墮落、さまよひ、盗癖、各種の中毒症の傾向で悩んでいませんか。
- ・夜ごとに悪夢、金縛り、幻覚、幻聴に苦しめられていますか。
- ・宗教を持っていながらも真の喜びと安らぎがなくて、罪責感と悪い霊に苦しめられているではありませんか。
- ・信仰生活をしているのに、真の答えと安らぎがなくて、次々と不信仰につかまって、問題の前で挫折してがっかりしてしまっていないですか。

このような問題は、至急に解決しなければ、より一層、深刻な状態になります。さらに明らかな事実は、人間が自分からは決してこの問題を解決できないという事実です。それなら、解決策は、はたして何でしょうか。

聖書はイエスがキリストだとあかししています

真実に一度、答えてみてください。人間が自分の努力で神様に会うことができるでしょうか。私にある罪と呪いの問題、運命とさだめの問題を自分で解決できるでしょうか。そして、これら全部の不幸の張本人であるサタン(悪魔)、悪霊の問題、そして、地獄の問題は、どのように解決するのでしょうか。それで、私たちに、この問題を解決することができるキリスト(メシヤ)が必要なのです。あなたの前に、神様に会う道、罪と呪い、運命から解放される道、サタンの権威から解放される道が開いてくださいました。その道が、イエス・キリストなのです。イエス・キリストは、あなた人生のすべての問題の解決者です。だれが来てもよいのです。

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。
(マタイの福音書 11章 28節)

イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。(ヨハネの福音書 14章 6節)

ふたりは、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」と言った。(使徒の働き 16:31)



重職者が持つべき祈りの力

ジンギスカンの祈り アレクサンダー大王、ヒットラー、ナポレオンが征服した土地を合わせたより、さらに広い土地を征服して、世界最大の帝国を建設したジンギスカン (Genghis Khan、皇帝の中の皇帝という意味)が、次世代を教育しながら残した祈りがあります。「家が悪いと恨むな、私は9歳の時、父を失って村から追い出された。貧しいと話すな、私は野鼠を取って食べながら命をつないで、命をかけた戦争が私の職業で私の仕事だった。小さい国で生まれたと話すな、影以外には友人もいず、兵士だけが10万、すべての民は子どもと老人まで合わせて2百万もならなかった。習ったことがないと、力がないと恨むな、私は私の名前も書くことも知らなかったが、他人の話に耳を傾けながら、賢明になる方法を学んだ。あまりにも、はるかに遠いからあきらめなければならないと話すな。私は首にかせをはめられても、脱出して、ほおに矢があたって死にそうになって、生き返って祈った。敵は外にいたのではなく、私の中にあっただ。私は私に足手まといになるものは、すっかりはき捨てた。私を克服するその瞬間、私はジンギスカンになっていた。

世界を征服する重職者の祈り 最初、一人だけの定刻礼拝を通して、神様に賛美をささげて、私の生涯と関係あるみことばを黙想しながら、思いだすみことばと課題を書いて祈ることです。二つ目、定刻祈りを通して、聖霊の満たしと5つの力(霊力、知力、体力、経済力、人材)を祈って、私の地域の弟子と民族福音化40万要員、世界福音化1千万要員のために祈りながら、20の聖書的伝道戦略が全世界の現場の隅々に根をおろして、未来と次世代を生かすRUTC(レムナント共同体訓練場)と、仕える教会のために祈ることです。時間によって、とても細かく祈ることもできて、短ければ1分でもできます。そして、イエス・キリストの御名で、暗やみの勢力を打ち砕いて、働き(産業)のために祈って、特別な問題がきた時は、問題を置いて引続き集中祈りをすれば良いのです。三つ目、終日、安らかな中で、この祈りの課題を常時で祈る(24時祈り)してみてください。祈りの力があれば、私を生かして、人を生かして、現場まで生かすようになります。祈りは世界を動かす最高の鍵です。

まことに、あなたがたにもう一度、告げます。もし、あなたがたのうちふたりが、どんな事でも、地上で心をつなげて祈るなら、天におられるわたしの父は、それをかなえてくださいます。(マタイの福音書 18:19)

神様の子どもになる受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決してくださったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来てくださって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの中の五つの確信

- 1 救いの確信**：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ 8:15-16、Iヨハネ 5:10-13)
- 2 祈り答えの確信**：神様の子どもはイエス・キリストのお名前でも何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ 15:7)
- 3 導きの確信**：神様は聖霊であなただの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ 14:26-27、箴言 3:5-6)
- 4 赦しの確信**：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さいます(Iヨハネ 1:9、ローマ 3:24)
- 5 勝利の確信**：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます

神様の子どもの中の毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタン勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

事実を見て命をかけて できないことはありません

最も怖い人は、死ぬことを覚悟した人です。ユダヤ民族が抹殺されるという危機の前で、エステル王侯は「死ななければならないなら、死にます」という決断を下しました。ステパノは死を覚悟して、ユダヤ人の前でイスラエルの実像と福音を宣べ伝えました。ローマ福音化のために、果敢に命をかけたパウロは「けれども、私が自分の走るべき行程を走り尽くし、主イエスから受けた、神の恵みの福音をあかしする任務を果たし終えることができるなら、私のいのちは少しも惜しいとは思いません。」(使徒 20:24)と告白しました。その人々の命をかけた献身が、現在の福音の働きを作る貴重な土台になりました。それならば、私たちは何から回復しなければならないのでしょうか。

牧会者、重職者の役割と祝福の回復

初代教会以後、2,000年間のがしてしまった重職者の祝福、これを回復することが、神様の大きいみこころの中の一つです。地域の隅々で、弟子を集めて、いのちを生かし、文化を生かし、現場を生かす主役になった初代教会の重職者の祝福、牧会者と伝道者と祈りの課題、メッセージ、伝道の方向、裏面契約、結論が通じた重職者の価値、そして、次世代に最高の信仰の足跡を残したローマ16章に現れた重職者のアイデンティティーを回復しなければなりません。一方、牧会者は、伝道だけを考えながら、みことばと祈りに専念する牧会者のアイデンティティーを回復すべきです。この時から、みことばが生き返って、教会に聖霊の風が起きるようになります。また、現場に働きが起きて、弟子が起きるようになります。

3つのことを持った人 それで私たちは3つの戦略を持つ人を見つけて、世界福音化をしていかなければなりません。単純な人でなく、伝道運動を持続する人材を見つけなければなりません。初代教会は、多くの働き人ではなく、福音の人を用いました。さらに、時代を見る目を持った人を見つけなければなりません。過去が土台であ

ることを知って、今日を見て未来を見通すことができ、その未来を今日に繰り上げて見る目を持った人こそが、その適任者です。このような人々を通して、現場に福音運動を持続する弟子と持続する場所と持続するシステムを立てられるようになります。この時、すべての伝道者の生き方がワンネス(Oneness)になるしかありません。

事実を見て命をかければ良いのです ステパノは、福音の前で死んでも良いという決断を下しました。どうして、これが可能なのでしょうか。ステパノは、すでに終わりを知っていて、別の世界を知っていました。永遠に変わることなく成就するみことばの世界、天の門が開いて神様の栄光を見る天の世界、滅びるしかない地の世界を見て変化させられる奥義を持っていました。私たちは、この時代に何を見て信仰生活をしなければならないのでしょうか。未来と次世代を生かす RUTC(レムナント共同体訓練場)、地域の文化を変える教会堂建築、現場の死んでいくたましいを生かす伝道運動、福音を持ったすべての家族が一つになって次世代の土台を用意する OMC(Oneness Mission Club)、これを私たちの思いと心、意識と無意識、潜在意識、たましいの中に入れなければなりません。人の前で、自分の前で、未来の前で事実的であることを見て、霊的な事実(人間の無能さと福音の力、伝道の祝福、聖霊の働き、サタンの働き、天国と地獄、御使いの活動)の前で真実ならば、神様の祝福を受けるようになっていて成功するしかありません。

今日、私たちが神様の真実を私の思いと心に、神様のみことばの真実を私の良心に、神様のみことばを私のたましいの中に入れて、黙想すれば、その時から働きは始まるのです。

その夜、主がパウロのそばに立って、「勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければなりません」と言われた。(使徒 23:11)

説教_柳光洙牧師, 整理_チャ・ドンホ牧師

毎日毎日の森の泉

21日(月)初代教会の目(使徒 3:1~10)

どんなことでも、何をしたかよりさらに重要なのは、何を見たかであり、見るよりさらに重要なのは何を持ったかということです。本当に福音を持っているならば、全てのことを福音の目で見るようになっていて、どんな状況の中でも答えを受けようになります。

22日(火)習慣を直しましょう(テモテ2:1~2)

聖霊の九つの実の中で最も重要な実は自制です。自制は家の門のようで、自動車のブレーキと同じです。一つを自制すれば、神様は100のことを祝福してください。それで、私たちは毎日、真実の考え、真の勇気、真の悔い改めに挑戦するのです。

23日(水)伝道者が悟る神様のみことば(使徒 2:14~21)

伝道者は迫害、問題、葛藤の中で、暗やみの勢力を打ち砕くキリストの奥義と神の国の奥義、聖霊の働きを味わわなければなりません。その次からは、この契約を堅く握って時刻表を待たば良いのです。祈りながら、今日のみことば、今日の伝道、今日の答えを探すのです。

24日(木)いつまでも信じるためである(出 19:7~15)

神様の子どもでも、福音中心に生活しなければ暗やみの勢力が攻撃して入ってきます。それで、常に信仰の大盾とみことばの剣を持って、いつでも祈らなければなりません。そして、この福音を知らなくて苦しんでいる人々のために、この福音を伝える伝道と宣教が、私たちが永遠にしなければならない使命です。

25日(金)二つの原理(ローマ 7:19~25)

私の中の2つの思いと心が、神様の前で一つに整理される時間に、神様の答えが起きます。この福音が心と思いとたましいに根をおろす時、癒しの働きが起きます。神様の前に立つ決断を持って、もっとも率直になる時間が、祈りの時間で、答えの時間です。

26日(土)個人を生かしましょう(1コリ 1:4)

自分も生かして、他の人も生かす人生のすてきな習慣は、定刻祈りを通して、自分の問題を越えて、聖霊の9つの実を結びながら、まことにすぐれたものを見分けることができる正しい考えと、神様の時刻表を成し遂げる伝道の中で未来に向かった真の成功の規律と体質を準備していくことです。

週間メッセージ

産業宣教 : Oneness 時代の Mission (使徒 1:8)

伝道学 : 祈りの挑戦 (マタイ 6:32~33)

核心訓練 : ステパノの死 (使徒 7:54~60)

聖日 1部 : あなたの隣人に対し、偽りを証言してはならない(出 20:16)

聖日 2部 : 考えもよらない所で答えられる主(ローマ 10:16~21)

永遠の ための 1分

時間は、だれにでも公平で、正確な分量の価値を与える。今日が過ぎれば、明日になるが、今日は昨日の未来であり、明日の過去となる。時間は個人が感じようが感じまいが、意味を与えながら私たちのそばを過ぎ去る。価値を発見した人には希望を見いだし、価値を発見できない人には、公然と時間だけが過ぎていく。



イラスト_ユン・スルギ

「なぜ、このように生きているのか分かりません」
私たちの周辺で、しばしば聞く言葉であると同時に、率直に自分の告白でもある。一日が24時間なのに、その時間を240時間で生きる人がいるかと思えば、2時間40分にも使うことができない人がいる。私に与えられた時間なので、私自身のために未来を準備して、人生を楽しむ自由な人がいるかと思えば、供給される時間を自分ではなく、他の人のために捧げる奉仕者に会う事もあり、無駄に時間を浪費する放浪者も、私たちの周辺にはたくさんいる。

同じ時間でも、時間を専門化させれば、時間の価値は変わる。人は一時間の講義を聞いたり、一冊の本を読む時、知識を得るようになるという。この時、講義を聞いた人の時間価値と、講義を提供する者の時間価値は違う。路上生活者の乱れている時間と、寸刻を争うサラリーマンの急迫な時間が別のものであるように。

「どのように、生きればよいのか分かりません」

この言葉の中で、時間を探る者の正直な心を読むことはできるが、本当にどのように生きればよいのかを普通の人々は知らない。それで、まだ来ない明日、正しくもない未来を知りたいと、だまされると分かりながらも占いを尋ねて行く。

大切な人に会うには1分、人と付き合うには1時間、人を愛するには一日、その人を忘れるには一生かかるという。このように、人は時間の中で生きている。それでは、人生を最も貴重にすることは何なのか。

人生の中で最も貴重な価値は、出会いを価値あるようにすることだ。どうであれ、親に会ったのが貴重なように、永遠の人生を成し遂げる霊的な親、すなわち神様に会うことは、より一層、貴重なことだ。人生は単独でこの土地に孤児のように投げられた存在ではなく、天地を造られた神様の愛を一人で十分に受けてもかまわない、そのような特別な存在で造られた。ただ、一人でいる時間が長かったので、その時間が苦痛であることに慣れてしまったので、ともにいる楽しみを見いだせなくて、自分のことがすぐに入れられないのが苦しいだけだ。

1分の出会いが小さく見えても、その大切な出会いのゆえに私たちは一生を待って、その出会いの価値は永遠まで達するようになる。病んだ経験がある人には癒しの時間で、待っていた人には出会いの祝福で、浪費の時間を持っていた人にはいのちを持つ祝福の時間で、1分の答えは大きくなるようになる。救われるのに十分な1分の出会いのための時間は、永遠のための1分なのだ。

チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください